



環境省 モニタリングサイト1000 国際シンポジウム



アジア・オーストラリアを渡る 水鳥たちのフライウェイ

～そのモニタリングと国際連携～

日時：2009年1月31日(土)

午後1時30分～4時30分

受付12時より

場所：福岡国際会議場 国際会議室 501

入場：無料



主催
環境省

後援

WWFジャパン
日本雁を保護する会
日本湿地ネットワーク
日本野鳥の会
バードライフアジア
バードリサーチ
日本国際湿地保全連合
福岡県
福岡市

お問合せ先

日本国際湿地保全連合(担当：岸本、神辺)
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-7-3 NCC人形町ビル6F
TEL：03-5614-2150 FAX：03-6806-4187
Eメール：info@wi-japan.org

Illustration: Michiko Shigehara

アジア・オーストラリアを渡る水鳥たちのフライウェイ ～そのモニタリングと国際連携～

◆内容◆ (都合により変更する場合があります)

- ・開会の挨拶：環境省自然環境局野生生物課長
- ・モニタリングサイト 1000 の紹介：環境省自然環境局生物多様性センター長

第1部：東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップの活動等について

第2部：フライウェイの国々からの報告

- ・ロシアの水鳥 - 繁殖地 -
アレクサンダー・アンドレエフ氏 (Institute of Biological problems of the north)
- ・中国の水鳥 - 中継地や越冬地 -
シウ・チアング氏 (Wetlands International - China)
- ・韓国の水鳥 - 中継地や越冬地 -
キム・ジンハン氏 (National Institute of Biological Resources, Korea)

第3部：モニタリング

- ・オーストラリアのモニタリング - Shorebird2020 - (Australian Wader Study Group)
- ・モニタリングサイト 1000 データと海外データの比較について (バードリサーチ)

第4部：パネルディスカッション 水鳥のモニタリングと国際協力

- パネラー：柏木実氏 (日本湿地ネットワーク)、金井裕氏 (日本野鳥の会)、
呉地正行氏 (日本雁を保護する会)、花輪伸一氏 (WWFジャパン) 他
ファシリテーター：市田則孝氏 (バードライフ・アジア)

◆発表者紹介◆

アレクサンダー・アンドレエフ氏：ロシア科学アカデミー北方諸問題研究所 (Institute of Biological problems of the north) 鳥類学室室長。ロシアのマガダン州 (カムチャツカ半島の北、アラスカの対岸) を中心にガン類、ライチョウ類、海鳥など幅広く研究をしている。

シウ・チアング氏：国際湿地保全連合中国 (Wetlands International - China) 職員。渡り性水鳥類の調査等をしている。

キム・ジンハン氏：韓国生物多様性展示館 (National Institute of Biological Resources, Korea) の主任研究員。韓国のラムサール条約の科学技術検討委員を務める。

豪州シギ・チドリ類研究会 (Australian Wader Study Group)：1981年に設立され、オーストラリアのシギ・チドリ類の研究や、アジア太平洋地域の渡りの調査研究を行っている。

NPO 法人バードリサーチ：鳥類等の分布、生態行動等について調査研究、情報収集、解析、データベース化等を行っている。また、環境省モニタリングサイト1000のガンカモ類、シギ・チドリ類調査の事務局を担当している。